

P11: 条件付きエントロピー最小化に基づく 教師付き次元削減手法

日野英逸, 村田昇

早稲田大学

- 教師付き次元削減のための基準として, 条件付きエントロピー最小化を用いることを提案.
- カーネル密度推定を介してエントロピーを推定・最小化することで, 可視化, 判別に有効な低次元データ表現を得る.

- カーネル法により非線型次元削減に拡張.
- 条件付きエントロピー最小化基準を, multiple kernel learning(MKL)問題にも適用.
 - 新しいMKLの枠組み.
 - 実データを用いた判別実験の結果, 既存の非線型次元削減(KFDA)より優れた結果が得られた. 既存のMKL手法との比較では, state-of-the-artな方法と同程度の精度が得られた.